

鎌ヶ谷市政策評価表

政策の名称	21人と自然にやさしい地域社会をつくります		
基本目標	2「自然と社会が調和する環境共生都市」をめざして	政策担当マネージャー	市民生活部長
重点政策該当有無		マネージャー氏名	宗川 洋一

I 改革・改善内容(=政策をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	市民や事業者を守ってもらうべきことや配慮してもらうことなど適切な啓発やPRを行います。また、公害については環境基準に照らした指導を行い、野焼きや不法投棄はパトロールの強化や発見した時にはしっかりとした指導を行っています。	③改革・改善内容	引き続き環境保全の促進と循環型社会の構築については、市民や事業者・行政の役割と責任の所在を明確にして、積極的なPRや啓発を行い、創意工夫をして、他分野の施策と連携した活動をしていく必要があります。
②①に基づく取り組み結果	市民と連携して、パトロールや指導を強化し、ホームページや広報などにより適切な啓発とPRを継続して行い、市民や事業者の意識の高揚を図りました。		

II 政策の目的・概要

①目的	対象	市民、事業者、行政	意図(対象をどうするのか)	緑あふれる自然環境を保全するとともに、持続可能な資源循環型社会を形成していきます。
②政策の概要	市民の健康を考え、自然にふれる機会を設け、環境意識をさらに高めて、緑あふれる自然環境を保全していきます。また、エネルギーの有効活用、廃棄物の減量、リサイクルの促進など循環型社会の構築に向けた取り組みを行い、人と自然にやさしい地域社会を作っていきます。			
③環境分析(状況変化や今後の見込み・市民意向など)	東日本大震災以降、エネルギーの有効活用と自然環境の保全については、市民の関心が高くなってきています。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成24～25年度の施策の成果	環境保全の施策では、市民との協働で水質浄化や環境団体の育成・支援などのソフト面での施策を進め、循環型社会の構築の施策でも市民や事業者との協働でごみの減量化、リサイクル化を進め、成果を維持しているところです。						
②施策成果指標		指標名称	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値(27年度)
	1	河川の水質BOD値	mg/L	7.0	7.3	7.4	9.0以下
	2	市内全域の温室効果ガス排出削減率	%	—	—	—	—
	3	資源化率	%	20.3	20.6	24.7	上昇
	4	最終処分率	%	8.6	8.8	8.4	減少
	5						
	6						
	7						
	8						
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
14							
③政策の事業費	平成24年度決算	平成25年度決算	市民一人あたり事業費(25年度決算)			平成26年度予算	
事業費(千円)	1,493,732	1,441,279	13			1,398,949	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	、エネルギーの有効活用と自然環境の保全については、市民の関心が高くなってきているものの、施策の成果が直接市民生活に現れるというものではないため、市民や事業所などの施策への理解が必要不可欠となっています。		
②総合評価	1達成	③総合評価の理由	施策成果指標では、すべての施策の目標値について、達成しているところです。(温室効果ガス排出削減率については、現時点で目標値の設定に至っていないことから、評価から除きます。)

V 今後の方向性

①成果の方向性	→維持	②コストの方向性	→維持
③特に重点化する施策	施策1 環境保全の促進		
④上記方向性の説明	市民・事業者へのPRや啓発の実施により、環境意識や循環型社会の必要性と意義について、より理解を深めてもらい、市民・事業者・行政がそれぞれの役割と責任のもと、協働を通じてコストを増加させず、成果を維持していく必要があります。		